



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：2009年のイラク政府の優先事項

(1月11日付サバーハ紙)

ダッバグ首相府報道官は、イラク政府の2009年における3つの優先事項に関して順位をつけて以下のように発言した。

1. イラク政府は、(1) 治安状況の改善、(2) 各種市民サービス及び経済プロジェクトの実施、(3) 公務員の給与水準の維持の3つを2009年の優先順位として決定した。マリーキ首相は、今後これら3つの優先順位に基づいて行政を実施していくことになる。
2. イラク政府はいくつかの重要案件を真摯に実施していく考えである。まずは治安であり、政府は治安の強化に引き続き努め、それから各種行政サービスを立ち上げていくことになる。原油価格の下落によって国家財政は影響を受けているが、政府としては、国家公務員の給与、水の電力事業といった政府サービス・プロジェクトの予算の減額はしないことを決定している。
3. 外交関係に関し、政府は欧州諸国及び世界の主要な都市との間の経済関係の強化につとめていく。我々は当該諸国の(経済発展に関する)経験を必要としている。我々は、イラク(企業)と世界(企業)との共同参画を通じたイラク経済の復興のための資本と先進技術を導入すべく、当該諸国との間の共同事業を実施していく予定である。
4. 昨年イラクには、アブドラー・ヨルダン国王、アハマディネジャード・イラン大統領、エルドアン・トルコ首相、ブッシュ米大統領、ブラウン英首相をはじめとする各国首脳がイラクを訪問したが、本年もいくつかの国の元首及び政府要人がイラクを訪問する予定である。